公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 晃智会 DAISY							
○保護者評価実施期間		R7年2月25日	~	R7年3月9日				
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	5名				
○従業者評価実施期間		R7年2月15日	~	R7年2月28日				
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名				
○事業者向け自己評価表作成日		R7年3月10日						

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ントやレクリエーション時に生活介護の方とも関わりがもて るよう蛇腹型パーテーションを必要時に開放し活動スペース を広くとれるようにしている。		
2	放課後利用時にも入浴を実施している。	入浴場には空調を設置しており、夏場・冬場でも快適に入浴できる環境を整えています。 滑り止めマットを設置し、転倒防止に努めるとともに、個々の入浴安全計画に基づいた支援を行っています。 入浴後には使用器具の洗浄・消毒を徹底し、衛生管理を徹底しています。 利用者や保護者からの要望や意見を受け付けるため、公式LINEを運用し、電話よりも気軽に相談できる環境を整えています。また、口頭での意見も速やかにスタッフ間で共有し、対応に努めています。	利用者一人ひとりに合った入浴環境の提供を目指し、今後さらに入浴安全計画の見直しを定期的に行い、より安全で快適な入浴支援を実施していきます。 利用者や保護者の満足度を向上させるため、入浴後のリラックスできる時間を設けるなど、入浴サービスの付加価値を高める工夫を検討します。 今後も定期的に利用者や保護者の意見を収集し、必要に応じてサービスの改善を行うことで、より良い入浴支援を目指していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が無い。	夏祭りなどのイベントでしか機会が無く、 また放課後という限られた時間で交流・活動するタイミング が難しい。	地域の店舗を活用する機会を設けるとともに、地域の学校を 招待し、交流の場を創出することを検討いたします。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が無い。	豕族等も参加できる研修会や情報提供の機会を作るのか	Zoom等のツールを使用しオンラインで参加できるような 方法を検討いたします。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 特定非営利活動法人 晃智会 DAISY

公表日 R7年3月14日

利用児童数 8人 R7年3月10日現在

回収数 5名

						13713702237	8人 R/年3月10日現任	回収数 5名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1				
境・体	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5					
制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	5					
適切	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	5					
な支援の提	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	5					
供	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	1	3	1			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			5			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	4	1				
保	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	3				
護者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	1			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。						
			4	1	l	1		

		<u> </u>				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	5			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1		
4⊦	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュア ル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	3		
非常時等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	3	2		
すの対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5			
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5			
	29	事業所の支援に満足していますか。	5			

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 特定非営利活動法人晃智会DAISY 公表日 R7 年 3 月 1 4日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0			
環境	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	0			
体制	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。				
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0		不穏な利用者に対し個室を用意し過ごしていた だけるようにしている。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	0			
***	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	0		開所1年の為、今回が初回の評価となる。 公式LINEを使用し要望等を受け付けており、 意向があれば都度業務改善につなげている。	
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につ なげているか。	0		定期的に職員との面談を行っている。	
1	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		0	第三者による外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	0		毎月勉強会を実施したり、外部研修の案内が あった際は出席している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を 作成しているか。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任 者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。			個別支援計画書を作成するにあたり、担当者会 議を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	0		個別支援計画書を紙媒体で綴じたり、データで も保管しスタッフが閲覧できるようにしてい る。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	0		保護者や相談員から頂いた情報と、利用時の活動・様子などから状況を把握するように努めている	
適	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			今年度より5領域を支援内容に盛り込んでいる。	
週切な支援の提	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0		個別支援計画書を作成するにあたり、担当者会 議を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	0		利用者の能力に合わせ、前回のプログラムを確 認しながら対応している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課	0		集団で行う事が苦手な方には個別活動も出来る ようにしている。	
		後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内			朝には簡単な打ち合わせを行い、職員チャット	
	20	文族開始前には職員間で必ず打占 せを打い、そのロガルれる文族の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			へも申し送り事項を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		0	打ち合わせは行っていないが、その日の記録を 職員チャットへ情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	0		記録をとっており、都度話し合いを行い振り返りをしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0		半年に1度モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。		0	4つの基本活動をそれぞれ単体で実施しているが、組み合わせた支援はできていない。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	0		選択肢複数用意し、自己選択出来るようにして いる。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適 切に行っているか。				
関係機	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		0	現在既に就学中の児童しか受け入れの実績がない為、保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有は行っていない。	
関や保護	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。	0		移行支援会議にて、利用している複数の事業者 が集まり情報共有を行っている。	
で者 との	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0			
連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0		夏祭り等のイベントを通して交流を行ってい る。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0		公式LINEを使用し利用者の状況を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0		利用契約時に詳細な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	0			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	0		ガイドラインの説明と合わせて、5領域と合わせて説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要 な助言と支援を行っているか。	0		自宅での介助方法について相談があり、当施設 での実施例を説明し 実践して頂き解決した事例がありました。	

保護者への	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		0		
説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか。	0		今年度は苦情はありませんでしたが、契約時に 苦情対応窓口を設置 している事をご説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0		SNS(X・Instagram・TikTok)に日々の活動を 載せている。 行事予定は公式LINEや紙媒体にてお知らせし	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか。	0		保護者との情報伝達に関しては職員で共有し、 速やかに対応方法 などをお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	0			
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。	0			
	47	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	0		都度確認をしており。 服薬の変更や追加があった場合には薬剤情報を 頂いている。	
非常	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	0		保護者からの申し出があった場合、対応している。 契約時に事前に聴取している。	
時等の	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0		定期的に研修や訓練を行っている。	
対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。	0			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	0		半年毎に研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0		契約時に保護者や利用者に事前に説明し了解を 得ており、計画書に記載している。	